

公益社団法人愛知県医師会 第35回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年2月19日(木) 午後3時20分～午後5時10分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣夫 横井 隆

理事／市川 朝洋 吉田 貴 伊藤 健一 城 義政 加藤 雅通

大輪 芳裕 西山 朗 樫尾 富二 樋口 俊寛 伊藤 富士子

瀬瀬 雅明 細川 秀一 森 孝生 城 卓志 野田 正治

監事／岩瀬 敬紀 可世木 成明 榊原 一基

代議員会副議長／川上 雅正 杉田 洋一

欠席者 代議員会議長／水野 和夫

議事録作成者 横地 宏和

伊藤副会長、吉田理事、加藤理事、樫尾理事、野田理事遅刻のため、承認事項1～2については、19名(うち理事14名)で審議した。

伊藤副会長、吉田理事、加藤理事、樫尾理事遅刻のため、承認事項3～協議事項5については、20名(うち理事15名)で審議した。

細川理事離席のため、報告事項26については、報告事項27の後に行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

日本医師会山本續子理事より、報告事項6の後に報告事項1の報告として、日医第12回理事会の報告をされた。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 愛知産業保健総合支援センター主催の日医認定産業医研修会の共催について

市川理事より説明され、承認された。

(2) 豊橋市民病院地域医療支援委員会委員就任について

市川理事より説明され、ご自身の就任が事後承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1~7の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

市川理事より、NO. 5の『愛知県国民医療推進協議会』地域集会』については、第173回(臨時)代議員会終了後に開催すると発言された。

柵木会長より、決議文は事前に各団体より賛同を得て、当日は、役員と代議員の参加とする予定であると発言された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	3/3(火)	愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7階研修室	城(義)理事 細川理事
2	3/5(木)	第7回愛知県医師会地域医療政策研究機構	5階医師連盟会議室	伊藤(健)理事 大輪理事
3	3/7(土)	愛知県医師会医療秘書学院講師会	名古屋東急ホテル	加藤理事 大輪理事
4	3/9(月)	病院の認知症対応力向上事業 第10回モデル事業企画支援会議	5階医師連盟会議室	野田理事 樋口理事
5	3/14(土)	「愛知県国民医療推進協議会」地域集会	9階大講堂	市川理事 檜尾理事
6	3/15(日)	第32回愛知県医師会医療秘書学院卒業式	9階大講堂	加藤理事 大輪理事
7	4/24(金) 5/14(木) 6/10(水) 7/22(水)	健康教育講座 〔平成27年4月~ 平成27年7月〕	9階大講堂	吉田理事 額額理事

3. 特別職員等の平成27年度雇用契約等について

市川理事より説明があり、承認された。

—協議事項—

4. 平成27年度予算(案)について

西山理事より、第33回(定例)理事会にて承認された「平成27年度予算案」について、救急医療対策事業費補助金が増額となったため修正したと説明され、承認された。また、併せて3月14日(土)に開催される第173回(臨時)代議員会にて報告することが承認された。

5. 会費の減免申請について

西山理事より説明され、名古屋市医師会より申請のあった会費減免申請が承認された。

6. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会報告

(日本医師会主催：日本医師会館)

日本医師会山本纈子理事より、報告された。

2. 医事法関係検討委員会〔2/18(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、諮問は「医療基本法（仮称）にもとづく医事法制の整備について」であり、前回委員会で医療基本法と医事法にある齟齬を洗い出し、改正の参考にするということとなり、その論点について議論したと報告され、また、「医療の不確実性」について議論された内容を資料に基づき説明された。

伊藤（健）理事より、「医療の不確実性」については、「医療情報の非対称性」という言葉を入れてもらいたいと発言された。

柵木会長より、他によい言葉があれば提案して頂きたいと発言された。

3. 予防接種・感染症危機管理対策委員会〔2/12(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤副会長より、委員構成について、新型インフルエンザ A (H7N9) 緊急事態宣言について、B 型肝炎ワクチンの技術的検討の経緯について資料に基づき説明された。

4. 平成 26 年度日本医師会医療情報システム協議会〔2/14(土)・2/15(日)〕について

(日本医師会：日本医師会館大講堂)

吉田理事より、地域医療連携セッション、日医 IT 戦略セッション、シンポジウムで取り上げられたマイナンバーについての発表内容を説明された。

柵木会長より、マイナンバーとカードは違い、カードは役所へ申請し発行することになると発言され、吉田理事より、マイナンバーは法律で行政が使うものになっていると発言された。

5. 平成 26 年度予防接種事業に関する伝達講習会〔2/15(日)〕について

(名古屋市医師会主催：鯉城ホール)

纈纈理事より、名古屋市医師会が主催する予防接種事業に関する伝達講習会において、愛知県広域予防接種事業についての事業概要、留意事項について説明し、参加者は午前・午後合わせて 571 名であったと報告された。

6. 第 25 回 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」〔2/7(土)・2/8(日)〕について

(日本医師会主催：晴海グランドホテル)

森理事より、「研修医へのカリキュラム立案」をテーマに、1泊2日の合宿形式にて、講習時間 16 時間 10 分の標記ワークショップが開催された。修了者には、「医

師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針（平成16年3月18日付け医政発第0318008号）」に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書が授与されたと報告された。

【本会関係会議について】

7. 第2回愛知県医師会立名古屋助産師学院運営協議会〔2/6(金)〕について

(愛知県医師会立名古屋助産師学院主催：801会議室)

山本副会長より、次第の通り議事が行われ、1名卒業が出来なかったため留年することとなり、また、来年度の予算について協議されたと報告された。

8. 第3回在宅医療サポートセンター事業に係る説明会〔2/12(木)〕について

(802～804会議室)

伊藤(健)理事より、地区医師会担当役員ならびに担当職員を対象に、在宅医療サポートセンター事業の実施要綱ならびに未定稿の補助金交付要綱に基づき申請手続きや実績報告など、今後の事務手続きの進め方などを中心とした説明及び意見交換を行ったと報告された。

9. 第6回愛知県医師会地域医療政策研究機構〔2/13(金)〕について

(802会議室)

伊藤(健)理事より、地域医療ビジョンにおける構想区域の設定について議論を行い、継続審議になったと報告された。

柵木会長より、2月25日(水)に開催する医療圏医療協議会の意見を踏まえながら、地域医療ビジョンにおける構想区域の設定を検討していきたいと発言された。

10. 保険医協会との懇談会〔2/10(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、保険医協会より、社会保障・税一体改革による社会保障制度改革、医療保険制度改革、2015年度予算案、保険医療機関への指導・監査、特定医療費助成制度、介護報酬改定等について、本会より、マイナンバーカード、平成27年度税制改正大綱に関して資料の解説及び意見交換を行ったと報告された。

柵木会長より、マイナンバーについて報告事項4での発言との認識の違いはあったかと質問され、大輪理事より、吉田理事の説明により明確になったと回答された。

柵木会長より、予防接種履歴や健診情報といった医療の周辺情報をマイナンバーに入れると新聞報道等ではなされていると発言され、伊藤副会長より、予防接種台帳の対応がバラバラであるので一定の合理性はあるが、日医の予防接種・感染症危機管理対策委員会はどう対応するか検討する予定であると発言された。

吉田理事より、カードの中にデータが入るわけでない。マイナンバーカードのナンバーで情報を管理するというので、カードを使って情報を引き出すようにしたいという話であり、行政ではすべての情報が紐付けできるようになると発言さ

れた。

伊藤（健）理事より、マイナンバー制度とマイナンバーカードは違う。日医が反対しているのは民間にデータが流れることがないようにしっかりと管理をとることであると分かったと発言された。

1 1. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔2/16(月)〕について
(5階医師連盟会議室)

樋口理事より、1月31日(土)に愛知県、岐阜県、三重県の理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の合同で開催された研修会について報告があった。地域ケア会議についての説明があり、地域ケア会議における多職種の立場について各委員により活発な意見交換が行われ、また、イエローカードの商標登録についての意見交換を行ったと報告された。

1 2. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1~4 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	2/10(火)	健康教育講座	200名	吉田理事 瀬瀬理事
2	2/11(水・祝)	かかりつけ医機能強化研修会 ～愛知県医師会 在宅医リーダー研修会～	372名	野田理事 樋口理事
3	2/13(金)	愛知県医師会地域医療政策研究機構講演会	11名	伊藤(健)理事 大輪理事
4	2/13(金)	平成26年度県下医師会障害者総合支援担当理事連絡協議会	47名	野田理事 樋口理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 3. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔1/26(月)〕について
(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

伊藤副会長より、ご自身は欠席されたと発言され、資料について説明された。

1 4. あいち医療通訳システム推進協議会平成26年度第2回代表者会議〔2/2(月)〕について

(愛知県主催：あいち国際プラザ)

伊藤副会長より、通訳の人数が満たされてきたため通訳育成の予算が削減された。利用数は順調に伸びている。また、東京オリンピックの開催に際し、国が全国30箇所に通訳を置く拠点の病院を作り、愛知県は藤田保健衛生大学病院に常駐通訳

者を置くことになったと報告された。

15. 愛知県学校保健会役員会〔2/4(水)〕について
(愛知県学校保健会主催：愛知県歯科医師会館)
伊藤副会長より、予算、決算の議論が行われたと報告された。
16. 愛知県後期高齢者医療審査会〔2/9(月)〕について
(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)
伊藤副会長より、会議の内容について説明された。
17. 支払基金幹事会〔2/10(火)〕について
(支払基金主催：支払基金)
伊藤副会長より、保険者による事前点検の具体的な仕組みについて、保険者がまず全ての診療報酬明細書の点検する仕組みにおける手数料について、考えられる保険者にとってのメリット・デメリットについて資料に基づき説明された。
18. 平成26年度第2回愛知県健康づくり推進協議会〔2/6(金)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
横井副会長より、本協議会は、森理事が参画しているがん、糖尿病、COPDに関する会議の親会議である。議事では、各専門部会の開催状況についての報告があり、また、COPDに関するアンケート調査、健診率の向上、歯科医師会との連携における糖尿病の意見書等について話題になり、発言をしてきたと報告された。
19. 平成26年度愛知県小児保健協会理事会及び総会兼学術研修会〔1/25(日)〕について
(愛知県小児保健協会主催：あいち小児保健医療総合センター)
吉田理事より、理事会にて、平成25年度事業報告ならびに決算の承認、平成26年度事業実施ならびに予算執行状況、及び、平成27年度事業計画、予算を協議のうえ承認された。学術集会では一般演題ならびに日本赤十字豊田看護大学の太西文子氏による低出生体重児についての特別講演があったと報告された。
20. 平成26年度第1回ナースセンター検討会〔2/16(月)〕について
(愛知県主催：高辻センター)
大輪理事より、本検討会は、来年度から地域医療介護総合確保基金を利用してナースセンターの強化を図るため今月より開催された。議事では、今までの求職・求人者を待っている姿勢を改め、民間業者レベルのITとサービス強化に努める。退職者の届出制度・ハローワーク(失業保険給付者情報)との連携を図る。スキルアップ目的の講演会開催など、看護協会独自の求職者の開拓活動を行う等が検討されたと報告された。

- 2 1. 平成 26 年度第 4 回愛知県子ども・子育て会議〔2/13(金)〕について
(愛知県主催：愛知県社会福祉会館)
伊藤（富）理事より、今後 5 年間の愛知県の子ども・子育て支援策「あいちはぐみんプラン 2015 - 2019～[日本一子育てしやすいあいち]の実現をめざして～」という 159 ページにわたる要綱案が承認されたと報告され、「あいちはぐみんプラン 2015-2019」の概要について資料に基づき説明された。
- 2 2. 愛知県後発医薬品適正使用協議会〔1/28(水)〕について
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)
瀬瀬理事より、愛知県では、新基準で約 55%の後発品が使用されており、全国でも中間くらいであるが、先発品 1 品目に対し 35～40 品目の後発品があり、問屋・薬局では在庫・品質管理に大変である。また、一部の県で実施されている後発医薬品採用品目リストを、今後、愛知県でも作成予定であると報告された。
- 2 3. 愛知県医薬分業適正化協議会〔1/28(水)〕について
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)
瀬瀬理事より、愛知県では薬局での処方箋受取率 58%で全国 36 位であった。県内では尾張中部医療圏が 71.8%と最も高く、東三河北部医療圏が 32.8%と最も低く、さらに低下する傾向にあったと報告された。
- 2 4. 愛知県新型インフルエンザ等専門家会議〔2/5(木)〕について
(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)
瀬瀬理事より、各発生段階における医療体制について、帰国者・接触者外来や入院協力体制について案が示されたが、実務者間の調整が必要として新型インフルエンザ等対策地域医療連絡調整会議が保健所長を中心として各医療圏単位で開催されることになったと報告された。
- 2 5. 平成 26 年度愛知県献血推進協議会〔2/12(木)〕について
(愛知県主催：愛知県議会議事堂)
瀬瀬理事より、血液事業の現状と各会での取り組みについて報告された。近年、自己輸血や無血手術の進歩、血液代用製剤の進歩や造血ホルモン製剤の進歩などで血液需要量は減少してきており、また採血量を 200ml から 400ml に増やすことにより、総体人数、特に若年者の人数の減少が目立ってきていると報告があったと報告された。
- 2 6. 高齢化社会における死因究明の在り方等に関する研究第 1 回会合〔2/9(月)〕について
(厚生労働省主催：日本医師会館)
細川理事より、検案の実態に関するアンケート調査、検案に関する教材の開発、死亡診断書・死体検案書の在り方についての検討がなされ、本年 3 月で終了する

事業であるが、アンケート調査を行うことになったと報告された。
柵木会長より、本会議は日医主催であるので次回からは「日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について」の項目に議題を上げるよう発言された。

27. 平成26年度あいちの地域包括ケアを考える懇談会〔2/10(火)〕について
(愛知県主催：愛知県白壁庁舎)

野田理事より、地域包括ケアモデル事業の進捗状況について報告があり、地区医師会モデル(安城・豊川・田原)、訪問看護ステーションモデル(新城)、医療・介護等一体化モデル(豊明)、認知症対応モデル(半田)、単年度モデル(岡崎・豊田・北名古屋)について報告があり、平成27年度以降の課題について意見交換があったと報告された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

28. 第3回西知多医療厚生組合地域医療連携会議〔2/16(月)〕について

(西知多医療厚生組合主催：西知多医療厚生組合衛生センター2階会議室)

山本副会長より、公立西知多総合病院の概要、診療体制、地域医療連携について説明され、また、竣工式典、関係者見学会が3月15日(日)に行われると発言された。

29. 平成26年度第4回豊橋市民病院地域医療支援委員会〔2/5(木)〕について
(豊橋市民病院主催：豊橋市民病院)

市川理事より、平成26年12月までの実績報告が行われたと報告された。

柵木会長より、地域医療支援病院の本来の趣旨と外れてきていると発言された。

山本副会長より、本来の趣旨について質問され、柵木会長より、本来は入院に特化する病院が指定されるものであったと回答された。

【その他事項について】

30. 平成27年度県補助金・委託金予算〔2/12(木)〕について

(5階医師連盟会議室)

柵木会長より、救急医療対策事業費補助金の本会持ち出し分が多く、その分の補助金増額が認められたと報告された。

31. 愛知県医師会交響楽団第33回定期演奏会〔2/8(日)〕について

(愛知県芸術劇場コンサートホール)

市川理事より、標記演奏会が愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて開催され、入場者は1,190名であったと報告された。

32. その他

・都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会〔3/19(木)〕について

伊藤(健)理事より、標記協議会のテレビ会議を県医師会館にて行うので参加希望

の方は事務局まで申し出て頂くよう発言された。

- ・ 病床の機能別分類の境界点について
伊藤（健）理事より、報告事項1の補足として、資料に基づき説明された。
- ・ 名古屋市医師会 平成26年度調査室勉強会〔2/26（木）〕について
大輪理事より、標記勉強会の案内をされた。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年2月19日